

「全校集会」校長講話

みなさん、こんにちは。

令和5年度が始まってからもうすぐ4か月が経ちます。私は出張の日を除いて、毎朝、7時半から8時15分まで校門前に立っています。生徒全員を出迎えることができませんが、その時間に会えた皆さんと挨拶することが、私が毎朝学校に来る楽しみの一つになっています。

みなさんはどうでしょうか。勉強や部活、友だちとの会話が楽しくて、毎朝学校に行くのが待ち遠しいという人もいれば、中には勉強が大変で学校に行くのが辛いとか、学校に行く意味が分からないという人もいるかもしれません。

そこで今日は、私が考える「学校に通うことの意味」についてお話したいと思います。

私は、学校は社会に出る前の訓練だと考えています。その理由は5つあります。

1つ目は「知識の獲得」です。学校ではさまざまな科目を学ぶことができます。これは社会で必要とされる基礎的な知識や技能を身につけるための訓練です。例えば、言語や数学の学習はコミュニケーションや問題解決能力を向上させ、将来の職場や日常生活で役立ちます。

2つ目は「社会的なスキルの向上」です。学校ではクラスメイトとの関わりやグループ活動があります。これにより、協力やコミュニケーション、リーダーシップなどの社会的なスキルを養うことができます。社会では他人と協力し、チームで働くことが求められる場面が多くあります。

3つ目は「自己管理の練習」です。学校では宿題の提出期限を守ったり、スケジュールを立てて効果的な学習を行ったりする必要があります。これによって、自己管理能力が養われます。社会では仕事やプロジェクトの管理、時間管理などが求められるため、学校での自己管理の練習は大切です。

4つ目は「多様な人との関わり」です。学校はいろいろな考えを持つ人々が集まる場です。この中で、異なる価値観や文化に触れ、他者を尊重することが求められます。社会でも多様な人々との関わりがあり、共生し協力する能力が必要です。

最後の5つ目は「成功と失敗の経験」です。学校での朝テストや定期考査、部活や探究活動などを通じて、成功や失敗を経験する機会があります。これによって、努力や挫折に対する対応力や忍耐力が養われます。社会では成功や失敗の経験がつきものであり、それに対して柔軟に対応する能力が求められます。

以上のように、学校は社会に出るための基礎的な訓練の場です。辛いかもしれませんが、とても大切な時間です。

ちなみに、今話した5つのことは、すべての学校に当てはまることだと思いますが、その中でも津南中等はそれらを身につけやすい学校だと思います。

「知識の獲得」「社会的なスキルの向上」「自己管理の練習」「多様な人との関わり」「成功と失敗の経験」どうですか。そう思いませんか。

学校生活で辛いときもあるかもしれませんが、それはすべて将来のために大切な経験です。とは言っても、少しでも楽しい学校生活を送りたいですね。

そこで、重要なのがこの津南中等に通う仲間たちです。みなさんは「ライバル」という言葉を知っていますね。ライバルは競争相手であり、互いにスキルや能力を競い合いながら成長し、進歩するための存在です。ライバルがいることによって、自分の限界に挑戦したり、努力を続けるモチベーションを保ったりすることができます。相手の成長や成功を目の前で見ること、自分自身の目標に向かって努力を続けることができます。ライバルは一人とは限りません。教科ごとに違うかもしれませんが、部活でもたくさんのライバルがいるかもしれません。

ただし、相手を蹴落とすことや嫉妬心に囚われることは避けなければなりません。相手を尊重し、思いやりの心を持ちながら切磋琢磨してください。

偶然、同じ時期にこの津南中等教育学校に通っている仲間たちと、ともに刺激しあいながら学び合い、そして一緒に卒業できるよう願っています。

最後になりますが、ニュースでは夏休み初日に小学生8人で川遊びをしていて、そのうち3人が溺れて亡くなったと聞きました。皆さんが行動や健康面に気をつけながら安全に過ごし、夏休み明けの全校集会で元気な姿を見せてくれることを願って、私の話を終わります。